

計画事業番号	00614	事務事業名	市道整備事業(補助)	担当部署	建設部都市整備課	電話	748
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	道路法、道路構造令			
事務事業開始年度	平成24年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 3 節) 道路の整備	
	(施策 1) 市内幹線道路・生活道路等の整備	
2 対象	沿線住民及び通行車両	
3 目的と内容	未改良区間や老朽化した路線の整備を拡大し、安全で快適な道路環境を確保する。	
4 実施内容(手段)	27年度まで	全体計画延長 L=10,147m 中央通線(完了) 歩道整備 L=4,448m(両側) 南9号線(工事負担金) 取付道路工、橋梁下部工、橋梁上部製作 広葉町10番通線(完了) 歩道整備 L=130m 大曲椴山線 函渠工 L=30.5m、用地取得 共栄南1号線 用地取得、物件補償 輪厚中央通 用地取得、物件補償
	28年度	南9号線(工事負担金) 取付道路工、橋梁上部工、旧橋撤去工 大曲椴山線 擁壁工、用地取得 共栄南1号線 物件補償 輪厚中央通 用地取得、物件補償

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
中央通線 歩道整備 L=422m 南9号線 取付道路工、橋梁下部工、橋梁上部製作 大曲椴山線 函渠工、用地取得 共栄南1号線 測量設計、用地取得 輪厚中央通 用地取得	中央通線 歩道整備 L=422m 南9号線 取付道路工、橋梁下部工、橋梁上部製作 大曲椴山線 函渠工、用地取得 共栄南1号線 測量設計、用地取得、物件補償 輪厚中央通 用地取得、物件補償	南9号線 取付道路工、橋梁上部工、旧橋撤去工 大曲椴山線 擁壁工、用地取得 共栄南1号線 物件補償 輪厚中央通 用地取得、物件補償	大曲椴山線 橋梁下部工、用地取得、物件補償 共栄南1号線 L=290m、測量設計、用地確定測量 南9号線 測量設計、歩道整備 L=120m 輪厚三島線 測量設計、用地取得 輪厚中央通 L=545m(盛土工)	大曲椴山線 橋梁下部工、橋梁上部製作、取付道路工 共栄南1号線 道路改築 L=410m 南9号線 歩道整備 L=260m 輪厚三島線 歩道整備 L=400m、用地取得 輪厚中央通 L=545m(路盤工・舗装工)			

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とする。歩行者や車両等の通行の安全を確保するため、関係機関と協議を行いながら事業を進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			313,368	455,105	421,355	414,813
事業額	直接事業費	国支出金	205,112	353,333	270,800	251,400
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	88,700	191,000	126,100	144,700
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	19,556	27,772	24,455	18,713
		① 合計	313,368	572,105	421,355	414,813
	人件費	② 人数(年間)	1.50	2.00	2.50	2.50
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	13,500	18,000	22,500	22,500
総事業費①+④			326,868	590,105	443,855	437,313

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①整備延長	目標値 実績値	4,578	5,032	5,442	7,057
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①整備率	目標値 実績値	45.1	49.6	53.6	69.5
	【累積整備延長／全体計画延長】	実績値	45.1			
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	道路を利用する歩行者や車両等の通行の安全を確保するために行政が道路整備を行うことは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	国の社会資本整備総合交付金及び防衛施設周辺整備統合事業費補助金を充当して実施していることから、各年度の補助金等の配分に応じた整備を行っており、計画どおりに進捗しない面がある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	路線の整備計画内容に応じた補助金制度を活用することで成果の向上を図る。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	道路の新設や改築に際しては、常にコストの縮減を図りながら事業を進めている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---